

第5回 「(仮称) みどりが丘小学校分離新設校」設立準備委員会

日時 令和7年 8月5日(火)

午後6時30分～

場所 緑が丘公民館

5階 集会ホール

【会次第】

進行 全体事務局

1 報告

- (1) 新設校開校に向けての情報共有 (C 部会)
- (2) 学童保育・放課後子ども教室 (C 部会)

2 議事

- (1) 通学路の整備 (A 部会)
- (2) 校章の選定 (B 部会)
- (3) 校歌の制作方法の方向性 (B 部会)

3 連絡

4 その他

令和7年8月5日（火）
第5回（仮称）みどりが丘小学校分離新設校設立準備委員会

新設校開校に向けての情報共有（C部会：6月19日開催）

1 保護者・地域連携

① 学校運営協議会

- ・ 新設校の学校運営協議会委員の候補者を、1年間、みどりが丘小学校学校運営協議会の委員に委嘱する予定であった。
 - ⇒ 元教員1名を委員に任命し、令和7年4月から会議に参加している。
 - ⇒ 保護者会からの委員については、現時点で候補者が決まっていない。

② 保護者会

- ・ 新設校の保護者会役員を募集しているが、現時点で手が挙がっていない。
- ・ 令和7年度の変更点として、保護者会への加入意思の確認、ポイント制・各委員会を廃止した。
- ・ 新設校に行く児童の保護者は、現在のみどりが丘小学校の保護者会のイメージを持っており、新設校で保護者会の制度が変わってしまうことに不安を感じている。
- ・ 新設校の保護者会に対し、みどりが丘小学校保護者会から分配金を出すことを検討している。
 - ⇒ みどりが丘小学校設立時に、新木戸小学校PTAから分配金をいただいた経緯がある。

③ 保護者の通学見守り活動

- ・ 保護者の見守り活動等について、みどりが丘小学校が1,000人規模であり、新設校が300人規模と児童数に差があるため、どこまで同じように支援ができるかという懸念がある。
- ・ 新木戸小学校PTAでは、独自に作成したシステムを使用して見守り活動を行っており、みどりが丘小学校保護者会も同じシステムを導入した。
- ・ 新設校の保護者は、スクールガードも含め、これまでの見守り活動が無くなってしまうのではないかと不安を感じている。
- ・ 通学路が重なる箇所もあることから、新木戸小学校・みどりが丘小学校・新設校の3校合同での見守り活動を検討している。

④ 地域ボランティア

- ・ 新設校において、読み聞かせ等の地域ボランティアの支援が受けられないことが無いよう、みどりが丘小学校と新木戸小学校に協力いただいているボランティアに対して、今年度中に学校から新設校についての話しをする必要がある。

2 その他

① 新設校の学区

- ・ 新木戸小学校では、新設校の許可学区に該当する児童の中に、少ないかもしれないが転学を希望する児童はいると思われる。孤立させることなく安心して転学できるようにしたい。
⇒ どの児童が希望するかわからないと学校側からのサポートが難しい。
- ・ 設立準備委員会で配布されたスケジュールを見ると、学務課からの正式な通知が令和8年1月頃だと思われるが、対象者に対して、もう少し早く結果が伝えられると良いのではないか。
- ・ 就学時健診の時点で結果がわかっているならば、保護者が安心するのではないか。

② 学校体育施設開放

- ・ 新設校の体育館・グラウンドの学校体育施設開放について、スタート時期の確認が必要である。
- ・ 実施に当たっては、新設校に駐車場が無いことから、利用者への周知が必要となる。

資料No. 2

分離新設校通学路整備状況一覧①

第 5 回（仮称）みどりが丘小学校分離新設校設立準備委員会資料
20250805 八千代市教育委員会

■担当部署：千葉土木事務所

エリア	場 所	NO	要 望 内 容	要望の状況	進捗状況等	備 考
県道 61 号	学校側歩道	1	■歩道部の拡幅	要望済	・令和 8 年 3 月までに完了予定	
		2	■歩道部のカラー塗装	要望済	・令和 8 年 3 月までに完了予定	
		3	■ガードパイプ等の設置	要望済	・令和 8 年 3 月までに完了予定	
	学校前交差点（交差点 2）	4	■横断歩道（2 か所）の撤去	要望済	・令和 8 年 3 月までに完了予定	
	映画館付近マンション前歩道	5	■路面凹凸の補修	要望済	・検討中	
県道 57 号	ヤマト運輸付近歩道	6	■歩道部のカラー塗装	整備完了	・整備済み	
		7	■歩車を隔てるガードの設置	整備完了	・整備済み	
		8	■注意喚起の看板の設置	整備完了	・整備済み	

分離新設校通学路整備状況一覧②

第5回（仮称）みどりが丘小学校分離新設校設立準備委員会資料
20250805 八千代市教育委員会

■担当部署：八千代警察署

エリア	場 所	NO	要 望 内 容	要望の状況	進捗状況等	備 考
県道61号	東葉高速鉄道高架下交差点市道出口	1	■横断歩道の設置	要望済	・設置予定	
		2	■歩行者用信号機の設置	整備不可	・設置困難（道路幅員不足のため）	
	焼肉「大將軍」前交差点（交差点3）	3	■自動車用信号機の切替時間の変更 ※歩車分離信号機の歩行者用信号が赤になってから、自動車用信号が青に変わるタイミングが早いため、歩行者が渡り切らないうちに自動車が走り始めてしまう。	要望済	車道用信号の点灯時間は一切変更できない。しかし、歩行者用信号の青点滅時間か、歩行者用信号が赤に変わってから車道用信号が青に変わるまでの時間のどちらかを1秒長くし、かつ、他方を1秒短くする変更は可能である。 （歩行者用信号の青点灯時間は変更できない）	協議
県道57号	東葉高速鉄道高架下交差点	4	■横断歩道の設置（一箇所）	要望済	・設置予定	
		5	■歩行者用信号機の設置	整備不可	・設置困難	
	イエローハット前交差点	6	■県道57号と交差する市道の信号機に右折用信号機を設置	整備不可	・現状、そこまでの交通量がないため設置は困難	
県道間市道171号	市道全体	7	■登下校時間帯進入禁止などの交通規制	整備不要	・一部が私道となっていて、さらにもととの車両の交通量が多くないため不要	
1・2丁目市道111号	1・2丁目間 T字路（ユニオンゴルフ北）	8	■横断歩道の設置（1丁目と2丁目をつなぐもの）	整備不可	・民家の駐車場にかかるため、設置は困難	
		9	■信号機の設置	整備不可	・民家の駐車場にかかるため、設置は困難	
		10	■横断歩道・停止線の補修	要望済	・検討中	

分離新設校通学路整備状況一覧③

第5回（仮称）みどりが丘小学校分離新設校設立準備委員会資料
20250805 八千代市教育委員会

■担当部署：八千代市

エリア	場 所	NO	要 望 内 容	要望の状況	進捗状況等	備 考
県道間市道171号	県道61号への出口付近	1	■路面のカラー塗装や「学童注意」等の標示	要望済	都市整備部 ・ 県道61号の施工後に路面標示等を行う予定	
	県道57号出口付近	2	■車への注意喚起の看板を設置	要望済	保健体育課 ・ 今後の整備状況を見て電柱幕等を設置予定	
	全体	3	■街灯の設置	整備完了	危機管理課 ・ 整備済み	
		4	■注意喚起の看板を設置	整備完了	保健体育課 ・ 整備済み	
1・2丁目市道111号	1・2丁目間 T字路 (ユニオンゴルフ北)	5	■注意喚起の路面標示や路面舗装等	整備完了	都市整備部 ・ 横断歩道の両端のガードポール付近に、やっちの「とまれ」マークを施工	
		6	■学童横断への注意喚起の看板の設置	整備完了	都市整備部 ・ 2か所設置	
	市道全体	7	■歩道のガードパイプ等の設置	整備不可	都市整備部 ・ 設置不可	
		8	■歩道面の凹凸	整備不要	都市整備部 ・ 現在は不要と判断	
		9	■「学童注意」等の路面標示等の安全対策	整備完了	都市整備部 ・ 交差点の手前に「学童注意」の路面標示を追加施工	

分離新設校通学路整備状況一覧④

第5回（仮称）みどりが丘小学校分離新設校設立準備委員会資料
20250805 八千代市教育委員会

■その他

エリア	場 所	NO	要 望 内 容	要望の状況	進捗状況等	備 考
県道 57号	ヤマト運輸付近歩道	1	■電柱の移設	整備不可	・過去に歩行者用信号機に合わせて移設したもの ・他に場所がないため、移設は不可能	
		2	■民家のフェンスの補修	要望予定	保健体育課 ・通学の様子を確認し、必要に応じて所有者に依頼する予定	
		3	■キンセイマテック（株）に出入りするトラックの規制	整備完了	保健体育課 ・キンセイマテック（株）と確認済 ・次の時間帯にかからないように輸送を行う 7：00～8：00 14：00～16：00 ・開校後の登校状況を確認し、必要に応じて改めて依頼予定	

B部会

- 1 校章の選定
- 2 校歌の制作方法の方向性

緑が丘公民館
令和7年8月5日

1 校章の選定

校章アンケート結果

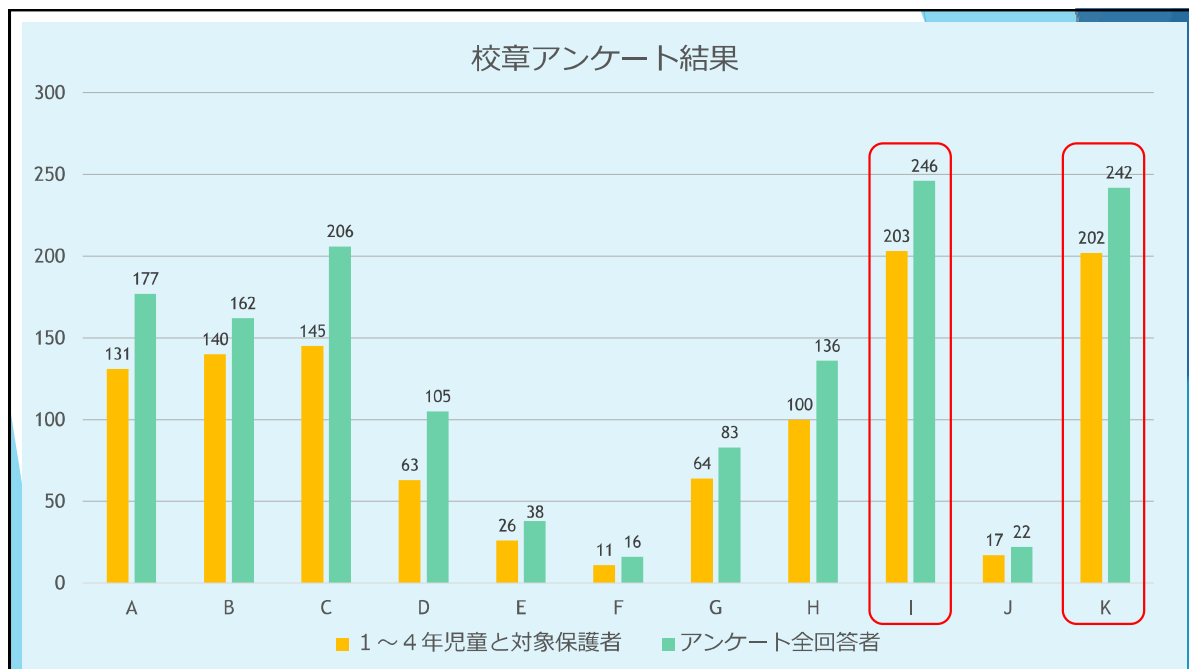
実施期間	令和7年7月8日（火）～11日（金）		
対象	みどりが丘小1～6年生児童 （※5・6年生は参考値） 分離新設校対象の1～4年生保護者		
回答数	1～6年生児童	1280名	
	対象保護者	155名	

1 1 個の校章案

案の 記号	校章案	校章案にこめられた願いや思い
A		たくさんの愛が4つと大好きが4枚こめられた校章。
B		みど小の校章と合わせると花になる。離れてもずっと友達だと思える校章。
C		西う葉のクローバーとスクールカラーはみど小と同じ。「小」の文字の背は「新設校にいる子どもと同じ青空をみている」「青空で2つの小学校はつながっている」ことを表した校章。
D		葉の形に「種」を生み出し、新しい希望と成長が育むことを意味し、みど小と新設校の新たな関係が結ばれることを例えた校章。
E		新しい学校の人も「幸せ」になれるようにという願いを込め、姉妹校のみど小に似た形にした校章。

F		みんなのすてきな笑顔、花丸のまるをイメージして、少しみどりが丘小学校の校章を取り入れた校章。
G		みど小のクローバーと、丸の中の「小」はみんなとみど小を守るという意味を込めた校章。
H		「みんな」「花丸」というキーワードを基に、花と葉を同居させた。中央は花丸の同心円をイメージした校章。
I		みどりが丘小に新しい分校が生まれ、繋がることで共に協力し成長し、強い絆で結ばれ未来へと発展していく校章。
J		新設校とみど小が手を取り合って、背を背負っていきながらの思いを込め、みど小の校章の形を基盤として誕生しているイメージにした校章。
K		種から花が咲くように、そしてクローバーの模様のように、子供達の未来へ「幸せの輪」が広がる事を願う校章。

校章案と図柄	1～4年生 ()は分離対象児童	対象保護者	1～4年生と 対象保護者合計	5・6年生 (参考)	全合計
A	1 1 7 (11)	1 4	1 3 1	4 6	1 7 7
B	1 0 6 (25)	3 4	1 4 0	2 2	1 6 2
C	1 2 1 (22)	2 4	1 4 5	6 1	2 0 6
D	5 6 (7)	7	6 3	4 2	1 0 5
E	2 3 (4)	3	2 6	1 2	3 8
F	1 0 (1)	1	1 1	5	1 6
G	4 9 (10)	1 5	6 4	1 9	8 3
H	8 2 (14)	1 8	1 0 0	3 6	1 3 6
I	1 7 7 (34)	2 6	2 0 3	4 3	2 4 6
J	1 5 (4)	2	1 7	5	2 2
K	1 9 1 (19)	1 1	2 0 2	4 0	2 4 2



A A たくさんの愛が4つと大好きが4枚こめられた校章

- ▶ たくさんの愛が4つと大好きが四枚込められていてたくさんの愛情が込められていて素敵だと思った。
- ▶ 「ずっと大好き」・「ずっとなかよし」・「ずっと友達」などの気持ちで、離れても希望と絆でずっと友達でいられそうな校章だったからと、よつば♣は、幸せの象徴なので、ずっと幸せでいられそうな校章だったから。
- ▶ 理由の「愛」「大好き」という言葉からみどり小を好きでいられ、忘れないで過ごしてほしいから。
- ▶ 後から、みどりが丘小学校に戻ることだったので、似ているのがいいと思ったから。
- ▶ 若葉のような色合いと、角のないデザインに優しいイメージを持った。
- ▶ 四つのハート型に見えたり、四つ葉のクローバーに見えたり、色覚的にもみどりが丘小学校との関係性を感じられたり、前向きなイメージが分かりやすく、シンプルですごくいいなと思った
- ▶ その学校の全校生徒が四つ葉のクローバーのようにつながって仲良くなって四つ葉のクローバーのように幸せになるような意味が考えられる校章だから。



みど小の校章と合わせると花になる。離れてもずっと友達だと思える校章。

- ▶ みど小の校章と合わせると花になる校章なので、ずっと心を一つにできると思ったから。
- ▶ みど小の校章とつながるから「ずっと友達で忘れないよ」という思いが感じられたから。
- ▶ “「2つの校舎は、2つで1つ」というような感じが、お気に入り。やはり、その様な言葉がとても胸に伝わった。”
- ▶ みど小の校章と合わせると花になって、離れてもずっと友達だと思える校章という言葉がとてもすてきだなと思ったから。
- ▶ みど小の校章と合わせた時の形までイメージされていて、2校への思いがよく伝わってきたため。
- ▶ みどり（葉）から花になっているので、関連していることがわかる。また、成長や進化が感じられるから。
- ▶ みどりが丘小学校の校章を柔らかくした感じで、丸い（和の）イメージが良い印象。
- ▶ 離れてもずっと友達という意味でその新しい学校に通う予定がある人（みど小を転校する人も）でも前の学校やその学校で新しくできた友達ともずっと友達と思える学校がいいから。



四つ葉のクローバーとスクールカラーはみど小と同じ。「小」の文字は青は「新設校にいる子どもも同じ青空をみている」「青空で2つの小学校はつながっている」ことを表した校章。

- ▶ 「青空で2つの学校はつながっている」「新設校にいる子どもも同じ青空を見ている」という校章に込められた思いが素敵だと思ったから。
- ▶ とてもシンプルでみどりが丘小学校の校章の原型をとどめているのでいいと思う。特に、青というところもみどりが丘小学校の赤色の小を青にただけなので凄くみどりが丘小学校という感じがしていいと思った。
- ▶ みどりが丘小学校の校章に似ていて分校に行った友達たちとずっと一緒に思えるし、もし私が分校に行く人だったらみど小のことをずっと覚えていたいから似ているCにした。理由がとても心に響いた。
- ▶ 願いがとても心に残ったからです。特に「青空で二つにつながっている」というのが違う学校でもみんなの心はつながっている感じで、とても心に響いた。
- ▶ 私の友達が、行ってしまうから文章を読んで、同じ青空を見ていると書いてあったので嬉しくなったので、選んだ。
- ▶ 新設校にいる子どもも同じ青空を見ているという理由がいいと思った。なぜなら青空を通じて離れてしまった子とみど小に残る子の気持ちが繋がっているという思いが伝わったから。

D



葉の端に「種」を生み出し、新しい希望と成長が育むことを意味し、みど小と新設校の密接な関係が結ばれることを例えた校章。

- ▶ “周りに点々があってそれが新しい仲の深まりの種だと思うとみどりが丘小みんなの仲が深まると思うからです。みどりが丘小みんな仲間です。”
- ▶ 四葉のクローバーの周りにある小さな8つの種みたいに、少しずつ小さな希望や、成長を育めるような学校というイメージが伝わってくるからです。
- ▶ “「種」というのが希望と成長という伸びていけることを表していると思います。そして、みどりが丘小学校と絵がにている絆があると思いました。”
- ▶ すごく希望を持ちながら成長し続けることが出来そうな気持ちになる校章だからです。
- ▶ 今の最初のみど小のマークと大きな変化もないし、種で新しい希望などの理由が素敵だったからです。
- ▶ 私は、この校章にある理由で、新しい希望と成長に心がひかれたからです。そして、種を生み出すことによって、新しい分離校のことを表しているように思ったからです。
- ▶ ロゴも今のみどりが丘小学校に似ているし、ロゴの意味が新しい希望と成長が育むことという理由がすごく素敵だったからです！
- ▶ 一番今の、みどりが丘小に似ていて、友達がみどりが丘小にいたことを思い出せるから。
- ▶ 他の場所になっても、新しい種を生むことで挑戦などが考えられるし、希望や成長も大事なと思ったので選びました。
- ▶ みどりが丘小の校章と似ているため、繋がりを感じるから。

E



新しい学校の人も「幸せ」になれるようにという願いを含め、姉妹校のみど小に似た形にした校章。

- ▶ クローバーに似ていて、クローバーは個人的に平和の象徴みたいに感じて、全部塗られていないのが、蝶みたいで、華やかさを感じたから。
- ▶ みんなが幸せになるという思いがよかったから。
- ▶ 緑色は健康を意味するから一番緑色が濃いから。
- ▶ みど小を守るという意味が素敵だったから。
- ▶ 丸くて書きやすく、シンプルだから、自分の校章を書くときにすぐに描ける。それに八千代市のイメージカラーと似ているから。
- ▶ 幸せになるという思いがよかったから
- ▶ みど小の姉妹校とわかりやすいのとシンプルなデザインだから
- ▶ みど小と似ているマークにしたことでみど小とつながりがあることがわかるし、みど小も幸せという願いだからこそ、新設校の人がマークを見た時みど小を思い出すから。
- ▶ 通学帽でどちらの学校の児童かがパッと見で分かるように、みど小と少し違うけれど近いものがあったらよかったから。

F



みんなのすてきな笑顔、花丸のまるをイメージして、少しみどりが丘小学校の校章を取り入れた校章。

- ▶ みんな、花丸などをキーワードにしているのを見て、私はみんな笑顔いっぱいに行けるようにしたいのかな？と思ったから。
- ▶ みんなが仲良くできるように。
- ▶ たくさんの輪でみんなとの繋がりを表しているところがいいなと思ったから。
- ▶ 緑の学校+新しい色が感じられる模様だから。
- ▶ みんなの素敵な笑顔という言葉が、入っているので、転校する人も覚えてもらえるから。
- ▶ みんなの素敵な笑顔がこめられていることが良いと思ったから。

G



みど小のクローバーと、丸の中の「小」はみんなとみど小を守るという意味を込めた校章。

- ▶ クローバーの中に小があるのは守る為、それが離れても守り続けるのがいいなと思ったから。
- ▶ 絆があるのでとても良い。
- ▶ みどりが丘小学校を地震や喧嘩から守ってくれそうだから。
- ▶ 「みど小を守る」とあって、地震とか色々な災害が起きても守られそうな気がするし、クローバーの花言葉は「幸運」という意味なので、幸せになれるそうですごく良い校章だなと思ったから。
- ▶ クローバだと幸せになりそうだし緑がいっぱいという意味が込められてそうだから。
- ▶ 四葉のクローバーは幸運をもたらすと言われているから。
- ▶ クローバーが小学校を守っていてよいと思った。
- ▶ ピンクも使われていて、これからの時代に合うと思ったため。
- ▶ みどりが丘小学校のイメージを残しながら、新しい学校との違いもわかりやすいため。



「みんな」「花丸」というキーワードを基に、花と葉を同居させた。中央は花丸の同心円をイメージした校章。

- ▶ 花丸という案がかわいいうし「どこの小学校になっても君は花丸だよ」と言っていたから。カーブの図形が1つずつ重なって「みんなで花丸だよ。みんなで協力したら何でも花丸になるよ」という感じのことを伝えたそうだから。
- ▶ 枠組みのような部分が重なっていて、みんなが、手と手を取り合っているような感じだから。
- ▶ まわりの輪がつながってるように見えてみんなの気持ちがつながっているといいなと思った。
- ▶ みどりの校舎の色と、みどりが丘小学校の「みどり」が入っているからです。
- ▶ 華やかで赤と青の相性がその小学校の未来を表していると思った。また花丸と葉を合わせたというアイデアが画期的だったから。
- ▶ みどりが丘小学校とその分校のつながりや絆が表れていると思ったから。
- ▶ 色合いが良くて、いい願いや思いが込められていると思ったから。
- ▶ 赤色は縁起がいい色で、青色はさわやかできれいな色なのでいいなと思ったから。
- ▶ 多様性を表現しているデザインみたいだから。
- ▶ みんなの手が繋がっているようできれいだから。



みどりが丘小に新しい分校が芽生え、繋がることで共に協力し成長し、強い絆で結ばれ未来へと発展していく校章。

- ▶ クローバーが繋がっているから、協力、絆という意味が感じられた。今のみどりのマークに似てるから、仲間みたいに感じられる。
- ▶ 未来に発展していく校章と書いてあって一番頑張れると思ったから。
- ▶ 青の羽(新しい学校に行く人)が羽ばたいてるとき、まだ、みどりが丘小学校の人と、離れていても、つながりは、消えないイメージを表していたから。
- ▶ 思いの中に「協力」「成長」「絆」があったのでいいと思ったから。
- ▶ 繋がることでともに協力し成長し強い絆で結ばれると違うところに通っていてもいい学校になると思ったから。
- ▶ 強い絆で、みどりが丘小学校と新しい小学校の子たちが繋がっていると思うと離れていても友達だよということがよくわかるのでいい校章だと思いました。
- ▶ 共に協力し成長し強い絆という意味がいいとおもったからです。
- ▶ 芽が育っていくように、成長している学校にしたいから。



新設校とみどりが丘小が手を取り合って、仲良く歩んでいけるようにとの思いを込め、みどりが丘小の校章の四葉を反転して握手をしているイメージにした校章。

- ▶ 仲良く歩むという理由がすごく良かったから。
- ▶ 一番わかりやすく、「握手をする」ということが良かったから。
- ▶ 丸がつながっていて絆を感じるから。
- ▶ 「手を取り合って、仲良く」というところが良い小学校になりそうだから。
- ▶ みどりが丘小学校と新設校が手を取り合って仲良く歩んで行くようにという思いが込められているから。
- ▶ 「手を取り合って仲良く歩む」のところが好き・絵もかわいい（丸のところ）
- ▶ 丸くてころころとしたかわいさがあり、【新しい緑】でいいと思った。仲良く歩んでいけるようにという思いが込められているのもいいと思った。
- ▶ 握手をしているところをイメージしているという理由に賛成・納得したから。
- ▶ 仲良く歩いていくのをイメージしてみんなで仲良くしていきたいと思うから。
- ▶ 一緒に歩んでいくというコンセプトが良いと思ったから。



種から花が咲くように、そしてクローバーの模様のよう
に、子供達の未来へ『幸せの輪』が広がる事を願う校章。

- ▶ みんなの幸せを願った輪に囲まれたマークだとみんなが幸せで学校に通えるかもしれないから。
- ▶ 「幸せの輪」という文章で、みんなが、一つになるといいなと思ったから。
- ▶ 全体がもこもこしていて、可愛いし、理由の「幸せの輪」というのがいいと思った。
- ▶ 色が目にも優しく、みどりが丘小の分離校にふさわしいクローバーと緑や黄色を使っているから。
- ▶ 子供たちの未来へ幸せの輪という意味がこもっていたのでいいと思った。
- ▶ 優しい感じの校章で、緑は豊かな感じ、黄色はみんなの明るい感じを表現してと思ったから。
- ▶ 幸せの輪が広がるというところと種から花が咲くというところがこんな学校になってくれたらいいなと思ったから。
- ▶ みどりが丘小学校のみどりや、優しい黄色の色が合わさってきれいだなと感じた。
- ▶ デザイン性もいいし、「種から花へと育つ」というところがいいと思いました。クローバーや花、桜などが入っている所が素敵だと思った。

<B部会の意見>

- アンケートの対象である1～4年生，分離対象の保護者の合計が一番多いのが，Iである。
- 参考値の5・6年生を合わせてもIが一番多い。
- 1～4年生の中で分離対象の児童もIを選んでいる児童が一番多い。
- Iを選んだ理由の中でみどりが丘小との「つながり」「絆」「協力」を感じられるコメントが多かった。
- みどりが丘小の校章に似ており，受け入れやすい。

2 校歌の制作方法の方向性

他校の例

・みどりが丘小学校

開校後に制作を開始し，2年後に完成。

作詞 小林真人氏・福井隆子氏

作曲 小林真人氏 　　　　　　　　　に依頼

・阿蘇米本学園

開校前から制作を開始し、開校後に完成。

作詞 令和3年度の阿蘇小・米本小・米本南小
阿蘇中の児童生徒

作曲 ステファノ・マストランジェロ氏 　　　に依頼

分離新設校では

- 実際に分離新設校に通う子どもたち，保護者，職員の思いや願いがこもった校歌にするためには開校後に制作した方がよい。
- 校名や校章を選定する際に子ども達から，みどりが丘小とのつながりや新しい学校への思いや願いを大切にした言葉が多かったので，校歌も素敵な歌詞が出てくるのではないかと。
- 作曲家に依頼する場合も備えて，今年度中に教育委員会で予算要望をしておくといいのではないか。

開校
記念
式典